

kokoiko
第15号
2021.1.1

来て 見て 使って つながって

koko iko

コ コ イ コ

一歩、前へ。



人々の暮らし方が大きく変わった2020年。
多くの人の変化に戸惑い、歩みをいったん止めることになりました。
しかし、人と繋がりたい・・・何とか活動を続けたい・・・
その思いがある限り、必ず前に進む一歩を踏み出すことができます。
地域で活動を続けた団体の方からお話を伺いました。

contents

- 一歩、前へ。
- プラッツつながりカレンダー
- プラッツよもやま情報

一参加して一歩前に踏み出す！



第6回 府中市市民協働まつりオンライン開催

府中市市民活動センタープラッツ
道具まゆみ

もう一団体は「府中がんケアを考える会」さん。年2回の講演会は延期となり、隔月の患者と家族の交流会も休止し、チラシを配る機会もなくなりました。今回の市民協働まつりへの参加はチャレンジです。コロナ禍だけではなく今後に向けても価値ある一歩、と勇気を出し、プラッツのサポートで動画を撮影、自分たちの投稿を行いました。今後也可以使用できる当会の紹介動画を作成できたことを喜んでいきます。

市民協働まつりへの参加を通し、「コロナ禍でも取り組めるオンラインでの会議や動画の発信などを活用し、「離れていてもつながりは無限大」の精神で、前向きに明るく乗り切っていこう」と、一歩前に進めるきっかけが生まれています。

まず、「琴伝流大正琴琴香会」さん。コロナ禍の中、練習もできず発表会も延期、そして、入院したり逝去されたメンバーがいらっちゃったとのこと。そんな時、協働まつりがオンラインで開催されることを知り、「これだ！」とすぐにエントリーし、メンバーと練習を開始しました。レッスンができず皆さん暗くなっていました。集まっておしゃべりすると元気に明るくなっていたとのこと。音楽は私たちを励まし、力を与えてくれます。「ドレミの歌」天国に召された友に向けて「喜びの歌」そしてコロナに負けじと「大勝負」の3曲を演奏する動画をプラッツのサポートにより作成しました。そして、今は、スマホで自分たちの演奏をみて、嬉しくて興奮気味とのこと。

コロナ禍の状況を踏まえ、オンライン中心で開催した今年度の第6回府中市市民協働まつりは、市民の皆さんに、団体の活動を発信し、笑顔や勇気を届けることを目指し開催しました。団体や企業、行政各課や学校など100の団体が参加しました。ステイホーム期間、活動を停止せざるをえない団体がほとんどでした。参加する決断をして、活動を再開。新しい目標ができたことで、団体のメンバーがやる気になったり明るい表情になったり、目標を達成するためにメンバー同士で話し合い協力することで、一人じゃない、みんなで作っていることを感じ、気持ちも前向きに取り組みはじめた団体が多数あります。その中の二団体を紹介します。

一歩、前へ。



一帰るときにはしあわせな重さに一
フードバンク府中

2019年5月に府中市社会福祉協議会が企画した学習会から準備会が誕生し、1年間の活動を経て2020年4月に設立、主な活動として食料で困っている人々や団体への支援を行っています。5月末からはコロナ禍で生活が厳しい学生を対象とし、企業や市民から寄付された食料の無料配布(フードパントリー)を開催しました。

フードバンク府中の代表の照井さん、役員の松本さんにお話を伺いました。

食料でつながる

受け取りに来る方々は様々な背景を抱えています。ただ食べ物を渡すのではなく、それぞれのニーズに合わせて渡したいです。必要であれば行政の支援への橋渡しを行うなど、ひとりひとりに向きあうことを大切にしています。

市役所では食品ロス削減を目的として、2020年11月に市内の家庭で眠っている食料の寄付を募りました(フードドライブ)。それらの食料はフードバンク府中を通して、子ども食堂への食料提供を始め、食べるものに困っている人々へ渡されます。このように行政とのつながりも出来始めました。他の組織との連携は具体的な活動だけでなく、気持ちの面でも大きな支えとなっています。

みんなが知って、当たり前にして欲しい

この活動は社会にとって解決すべき問題だと思うのですが、アクションを起しているのが有志のボランティアです。ボランティアでやれることは限られています。行政や企業、団体から当たり前支援してもらえよう次世代へ受け継ぎ、持続性、将来性のある活動にすること、それがフードバンク府中の目標であり、そのためには多くの人々へ現状を知ってもらうことも重要です。



取材を終えて...

来るときには空のリュック、帰るときにはしあわせな重さに

活動に取り組む原動力は何なのか、嬉しいと感じるときはどんなときかと尋ねると、「食べ物で重くなったリュックを背負って『しあわせな重さだ』と喜び、感謝された時です」と照井さん。「困っている人が目の前にいる。だから、フードバンクの活動をやめるわけにはいかないのです」と松本さん。「食べ物が余っているにもかかわらず、足りない人のもとへは届かない」という大きな問題があります。この現状を「知る」、そして「出来ることから行動する」ことが大切なのではないでしょうか。

取材・文/的場絢香(学生インターン)

一誰もが輝ける環境を一
ひな草の会

2014年に府中市在住の主婦で結成。環境保護活動を通じた市民による花と緑のまちづくりを目的に、市民花壇や福祉施設の花壇ボランティア、押し花教室など園芸活動を中心に行っています。最近では会員一人一人が特技を活かして輝ける場所でありたいという代表の思いから、園芸活動にとどまらず、多岐にわたった活動を行っています。

ひな草の会代表の萩原さんにお話を伺いました。

コロナをきっかけに畑仕事へ

2014年に活動を開始して以来、花壇ボランティアを中心にデイサービスでのアクティビティ、押し花教室、園芸サロンの4つを主な活動としていました。しかし、コロナの影響を受け、花壇ボランティア以外の3つの活動を中止せざるを得なくなりました。仕事も休みになり、何をしようかと思っていた矢先に声がかかり、障害のある方が通う作業所の畑仕事を4月から手伝うことになりました。現在は密を避けながら、花壇ボランティアと畑仕事を並行して行っています。

新しい出会いと気付き

畑仕事を手伝う中で、作業所のメンバーと自然や畑仕事の楽しさを共有することに楽しさを感じます。何気ない日差しをあたたかさや、作物の成長の喜び。彼らとのコミュニケーションの中で気付かされるのがたくさんあります。

畑仕事はひな草の会、作業所のメンバー双方に良い影響を与えていると思います。「百姓」とは百の仕事があるという意味もあるそうです。耕作、種まき、石拾い、草取、虫取り、土ふるい、落ち葉拾い、収穫、枯れ枝の処分等々。必ず一人ひとりにあった仕事があるはず。ひな草の会のメンバーには障害者の方との関わりがなかった



方もいますが、今ではお互いの性格や個性を尊重した笑い声の絶えない畑仕事になっています。作業所のメンバーもひな草の会のメンバーが来るのを楽しみにしてくれているそうです。

大変なときこそ明るく

コロナの影響で皆が沈んでいる時こそ、ボランティアが重要だと思います。私たちは大変なときだからこそ、明るい気持ちを持って花壇ボランティアや畑仕事をしています。コロナ禍でも無理のない範囲で活動を続けてきて、気付けばコロナ以前よりも活動内容の幅が広がり、充実しているように思います。

これから畑仕事も含めてひな草の会の活動を広げていきたいと思っています。その中でメンバーの一人ひとりが役に立つ場面もたくさん出てくると思います。みんなで得意なことを形にして、誰もが輝ける環境を作っていきたいです。



取材・文/反田実穂(学生インターン)

2021

プラッツつながりカレンダー



1 月

- 10・24・31 (日)
16 (土)
コミュニティカフェ開設講座
- 16・23 (土) 市民活動入門講座
初めてのオンライン
- 18～31 オリンピック・パラリンピック
ホストタウンウィーク展示
- 25 (月) たましんSB個別相談
- 30 (土) つなぎすと府中
アドバンス講座



2 月

- 6・13 (土) 市民活動入門講座
初めてのオンライン
- 15 (月) たましんSB個別相談
- 7・21・28 (日)
コミュニティカフェ開設講座
- 6・13・20 (土) 市民活動専門講座
あなたにもできる！
これからのITコミュニケーション
- 25～3/1 ふるさと学習発表展示
- 27 (土) 交流会 (プラッツひろば)
- 28 (日) 講演会
若宮正子講演会：「生涯、楽しむ」を考える

3 月

- 6 (土)
つなぎすと府中実践塾成果発表会
- 7 (日) コミュニティカフェ開設講座
- 20 (土) 府中ミライ会議
- 21 (日) コミュニティカフェ全国交流会
- 22 (月) たましんSB個別相談



参加者
募集中

毎週月曜日 (祝日除く) : 勉強カフェ オンライン
ときどき : オンライン体験会
ときどき : 講師育成派遣事業



※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、プラッツではフリースペースの一部閉鎖やイベント開催の一部自粛を行っております。内容は予定であり、今後の状況により変更となる場合があります。予めご了承ください。詳細はプラッツホームページをご覧ください。

プラッツ よもやま情報

プラッツ インターンシップ

現在プラッツでインターン中の大学生2名が、今号kokoikoの特集記事取材・執筆を行いました。コロナ禍において活動を続ける市民団体の想いをしっかりと聞き、それを広く伝えること。みずみずしい視点ならではの気づきを大切に、今後もさまざまな市民活動支援に取り組みます。志ある学生を迎え、プラッツに新しい風が吹き込みます！

フォローお願いします！

プラッツ公式Facebook・Twitter・Instagramを更新しています！イベント情報や日々の出来事をリアルタイムでお届けしています！フォローお待ちしています！



団体登録しませんか？

プラッツに市民活動団体登録をすると、団体活動スペースの予約利用や印刷室、各種貸出機材の活用、さらにWebやSNS等での情報発信、各種イベントへの出展など、活動を広げるチャンスがたくさんあります。府中を拠点に、地域や社会のためになる団体活動を展開している皆さまのご登録、お待ちしております。

団体登録情報は
こちらから



※詳細はホームページをご覧ください。



オンライン体験会

コロナ禍であったという間に広まった「オンライン〇〇」。プラッツでは、その流れに戸惑っていらっしゃる方々に向けて「オンライン体験会」を開催しています。LINEの使い方、ビデオ通話の方法や防災アプリの使い方などをご要望に合わせてほぼオーダーメイドでお伝えする体験会です。詳しくはプラッツまでお問い合わせください。



府中市市民活動センタープラッツ ラジオ番組「IMAPLA(いまぶら)」 毎週土曜日10時15分～放送中！

ひとりの時も、誰かと一緒でも、リビング“居間”で過ごすように、ゆったりと、プラッツの“今”をお届けしています。

87.4MHz「ラジオフューズ」またはコミュニティFM放送局のポータルwebアプリ「ListenRadio」から無料でお聴きいただけます。

2021年1月1日 kokoiko第15号

発行責任者 館長 吉田恭子

©2017 府中市市民活動センター運営グループ



プラッツHP

府中市市民活動センター プラッツ

TEL 042-319-9703 / FAX 042-319-9714

MAIL info@fuchu-platz.jp HP http://www.fuchu-platz.jp/

〒183-0023 東京都府中市宮町1-100 ル・シーニユ5、6階
(京王線「府中駅」南口直結)

